

練馬区外郭団体中期経営計画の達成状況

団体名	一般社団法人 練馬区産業振興公社	団体所管課	産業経済部経済課
-----	------------------	-------	----------

経営計画期間	令和 2 年度 ~ 6 年度	※計画期間は、5年間(令和2~6年度)とし、年度別計画は3年間(令和2~4年度)
--------	----------------	--

団体の目指す将来像

区との密接な連携の下、産業振興施策の中核的機能を担うとともに、区内経済団体と連携協力して多様で専門性の高い事業を展開し、地域経済の活性化に寄与する。

区の外郭団体としての公共性や安定性を基盤に、区内事業者・勤労者等のための活力ある魅力的な事業を展開する。

取り組みを進めるうえでの「基本的方針」

1 練馬ビジネスサポートセンターの運営

開設してから5年を経過し、創業支援事業と販路拡大支援事業の実績等を踏まえ、さらにバランスの取れた運営を行う。

2 練馬区立区民・産業プラザの維持運営

区民・産業プラザの利用を促進することで、地域経済の活性化に寄与する。そのため、産業イベントコーナーの稼働率をアップさせるほか、利用者満足度の高い接遇および施設の維持管理を行う。

3 ねりま観光センターの運営

観光情報サイトでのコンテンツの充実や、区ゆかりの体験イベントの実施など、より効果的に区の魅力的な資源(商品・お店・イベント・映像文化等)を発信する。

4 ねりまファミリーパックの運営

会員のニーズに合った利用しやすいサービスを提供するとともに、区内事業者・団体等との連携を広げ地域経済の活性化に繋がる事業を実施するなど、民間類似事業者に無い独自事業の展開を図る。

区が外郭団体に求めるもの

産業振興公社は引き続き、区民・産業プラザを拠点として区の産業振興施策を展開する。その際、外郭団体の特性を活かした柔軟で機敏な事業を実施し、区内産業経済団体と連携した地域経済活性化への取組を進めていく。

達成状況の評価

外郭団体は、経営計画の取組や達成状況を毎年度、評価する。団体が行う達成状況の評価は、つぎの3段階で評価する。

「A」 計画以上に進んだもの

「B」 概ね計画どおりのもの

「C」 計画どおりに進んでいないもの

団体所管課の評価

団体所管課は、年度終了後、団体の取組や達成状況などから、年度の評価を行う。

事業1	練馬ビジネスサポートセンター
取組内容	<p>①相談体制の充実により、累計相談件数1万件を目指す。</p> <p>②創業ねりま塾の体系見直しを行って、創業支援と若者・女性・シニアなど幅広い層への創業支援を行う。</p> <p>③SNSの活用をはじめ要望の多いテーマを中心に様々なセミナーを実施する。</p>

目標①	経営相談(総合・創業・専門)の実施 年間累計相談件数10,000件			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	7,500件	8,700件	10,000件
実績	6,530件	8,251件		
団体の達成 状況の評価	—	A		
備考	—	新型コロナウイルス感染症により影響を受けた区内事業者への支援策として、中小企業診断士等の増員、オンライン経営相談の開始等による相談業務の拡充を図ったため。		

目標②	創業ねりま塾の開催、創業希望者への支援 年間創業者数55人			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	55人	55人	55人
実績	58人	36人		
団体の達成 状況の評価	—	C		
備考	—	創業セミナーの実績から、創業希望のニーズはあるが、新型コロナウイルス感染症の影響により、創業に慎重となったと考えられるため。		

目標③	利用者のニーズに応えるセミナーの実施 受講者満足度80%以上			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	80%以上	80%以上	80%以上
実績	82.0%	77.4%		
団体の達成 状況の評価	—	B		
備考	—			

取組内容の評価(令和2年度)	
団体	<p>新型コロナウイルス感染症による影響を受けた区内事業者への支援策として、オンライン経営相談の開始などの相談業務を拡充した結果、目標を大きく超える相談件数となった。また、テレワークの活用術などをテーマとした、コロナ禍においてニーズの高いセミナーを対面方式だけでなくオンライン方式でも実施し、受講者満足度の向上に努めた。</p> <p>年間創業者数は、前年度と比較して減少したものの、若者を対象とした創業ねりま塾のメニューを新たに創設するとともに、子育て中の方や高齢者がより気軽に参加できるよう創業ねりま塾の体系の見直しを行うなど創業者数の増加を図る取組を実施した。</p>
事業 所管課	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受けた区内事業者を支援するため、4月からの臨時電話相談会の実施を皮切りに、休日を含むオンライン経営相談の実施、中小企業診断士による経営相談の拡充等、矢継ぎ早に施策を実行してきたことを評価する。</p> <p>また、コロナ禍で区内事業者が直面する課題をテーマとした効果的なセミナーを開催し、その満足度も目標を概ね達成できている。</p> <p>創業者数については、目標は達成できなかったが、コロナ禍における創業者数の増加を図る取組として、創業セミナーの実施方法に「動画配信」を取り入れ、セミナー参加への裾野を広げていることから、今後の創業者数の増加が期待される。</p> <p>区内における事業者支援の拠点として、引き続き、新型コロナウイルス感染症で影響を受ける事業者、創業希望者等への効果的な支援策の展開を求める。</p>

事業2	区民・産業プラザ
取組内容	<p>①近くて便利できれいな施設の特性を更に高め、利用者満足度の高い施設サービスを提供する。</p> <p>②指定管理者として、利用料金収入の安定的な確保に取り組む。</p> <p>③利用率が唯一低い産業イベントコーナーの利用促進に向けて、様々なイベントや各種事業の開催に取り組む。</p>

目標①	施設利用の推進と利用者満足度の向上 利用者満足度95%以上			
年度別取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	95%以上	95%以上	95%以上
実績	92.4%	96%		
団体の達成状況の評価	—	A		
備考	—	令和3年2月から3月に実施した利用者アンケート調査(回答数126)による。		

目標②	利用料金収入の確保 年間利用料金収入額30,000千円			
年度別取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	30,000千円	30,000千円	30,000千円
実績	26,629千円	7,706千円		
団体の達成状況の評価	—	C		
備考	—	新型コロナウイルス感染症対策として、施設の休館や利用定員の制限等を行ったため。		

目標③	産業イベントコーナーの利用促進 コーナーの利用率60%			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	57%	58%	60%
実績	50.8%	0%		
団体の達成 状況の評価	—	—		
備考	—	新型コロナウイルス感染症 対策として実施した施設の 休館および産業融資あっ せん窓口の開設に伴い貸 出を休止したため。		

取組内容の評価(令和2年度)	
団体	<p>区民・産業プラザの施設運営については、新型コロナウイルス感染症対策の影響により厳しい状況であった。</p> <p>利用料金収入については、施設の休館および利用定員の制限等により、大幅な減収となった。特に産業イベントコーナーについては、休館や産業融資あっせん特別窓口として使用したため、ほぼ年間を通して施設を利用することができず、一般利用の実績はなかった。</p> <p>そうした中で、利用者満足度の高いサービスの提供を念頭に、施設についてはこまめな消毒・清掃を実施し、清潔な施設環境の維持に努め、利用者に対しては職員の丁寧な接遇に努めた。その結果、利用者アンケートの高い評価につながったものと考えられる。</p>
事業 所管課	<p>令和2年度は、コロナ禍において感染拡大防止が求められる中、区と連携して万全な施設運営体制をとることができた。</p> <p>また、施設の休館等により利用料金収入が大幅に減少する中、テレワーク等を目的とした新たな施設利用が増えている。今後、無料Wi-Fiの提供や営利目的の利用が可能であるといった施設の魅力を積極的に発信し、利用率の向上に努められたい。</p> <p>産業イベントコーナーについては、区の融資あっせん窓口として利用したために、一般の利用ができなかった。今後、産業経済団体や区内事業者と連携した利用促進に向けた取組に期待する。</p> <p>こうした状況の中、利用者アンケートにおいて高い評価を得ていることは、利用者の利便性を意識した施設運営に腐心した結果であると考えられる。引き続き、利用者満足度の向上と、利用率の向上に向けた取り組みを求める。</p>

事業3	ねりま観光センター			
取組内容	<p>①条例上指定管理業務に位置付けるとともに、練馬・石神井各々の商品内容、施設機能を更に充実し、区内観光資源の魅力発信につなげる。</p> <p>②HPの検証を通じ、更なる練馬の観光資源や魅力の創造と発信を行う。練馬区へのお出掛け、観光情報のポータルサイトを目指す。</p> <p>③新たな体験や見どころの創造・創出を通して練馬の魅力を再発見し、練馬への定期的な来訪(周遊)を促すツアーを実施する。</p>			
目標①	観光案内所の運営 年間売上額37,000千円			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	35,000千円	36,000千円	37,000千円
実績	33,618千円	21,584千円		
団体の達成 状況の評価	—	C		
備考	—	緊急事態宣言中(4月4日・5日・4月11日～5月31日)に休業したことおよび練馬観光案内所については、産業融資あっせん窓口の開設により休業期間が9月末まで延長されたため。		
目標②	HP「とっておきの練馬」によるねりまの魅力発信 年間PV数1,400,000回			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	1,200,000回	1,300,000回	1,400,000回
実績	1,204,077回	1,400,420回		
団体の達成 状況の評価	—	A		
備考	—	飲食店応援企画の実施、バーチャルねり丸ランドの開設、毎月のPV分析により、魅力的な特集記事を提供したため。		

目標③	ねりま観光ツアーの実施 年間8回			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	5回	6回	8回
実績	2回	3回		
団体の達成 状況の評価	—	C		
備考	—	新型コロナウイルス感染症 拡大によりツアーの実施可 能期間が短かったため。な お、唯一実施したツアーは 希望者が多数のため、実 施回数を増やした。		

取組内容の評価(令和2年度)	
団体	飲食店応援企画「テイクアウト・デリバリー情報掲載事業」を実施したことや、毎月部会でPVの傾向を分析し、様々な企画に反映させるよう努めたことなどにより、PV数は目標を大きく上回った。案内所運営では休業を余儀なくされるなど厳しい状況であったが、ねり丸グッズの新商品販売などで売上向上に努めた。観光ツアーの実施回数は少ないものの、バーチャル観光案内を作成し好評を博した。
事業 所管課	<p>観光案内所は、新型コロナウイルス感染症の影響によって休業や時短営業となった期間があったため、目標売上を達成できなかった。しかしながら、キャッシュレス決済の導入や区内農業者の加工品販売、新たなグッズ販売など、コロナ禍でも様々な取組を行いながら売上向上に努めている。今後の売上に期待する。</p> <p>HPのPV数では、「おうちで楽しむねりまごはん」や「バーチャルねり丸ランド」等の新たな取組を実施したことで、目標PV数を大きく上回ったことを評価する。</p> <p>ねりま観光ツアーは、緊急事態宣言中のツアーを中止したため、目標回数は達成できなかった。一方で、実施したツアーでは、感染症対策を徹底した上で、区の特徴である都市農業の魅力を発信し、参加者からも大変好評であった。また、代替施策としてオンラインツアーにも新たに取り組み、コロナ禍での可能な観光施策に努めたことを評価する。</p> <p>令和3年度からは、観光案内所の運営が指定管理業務となった。区内観光資源の魅力を発信する拠点として更なる活用を図り、引き続き、効果的な観光施策の展開を求める。</p>

事業4	ねりまファミリーパック
取組内容	<p>①ファミリーパックの事業実施にあたって、区内事業者や区内経済団体と連携共同した新たな事業を実施する。</p> <p>②会員の利便性向上と経費節減につながるWeb利用の会員を増やしていく。</p> <p>③アンケート調査における満足度を高めるため、様々なニーズに応えられる事業運営に取り組んでいく。</p>

目標①	区内事業者・区内経済団体との共同事業の実施 共同事業の件数7件			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	5件	6件	7件
実績	4件	5件		
団体の達成 状況の評価	—	B		
備考	—			

目標②	Web会員の拡大による利便性の向上 Web会員の割合75%			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	73%	74%	75%
実績	73.0%	74.7%		
団体の達成 状況の評価	—	A		
備考	—	スポーツ観戦などのWeb会員に限定したチケットの販売を増やすとともに、見やすさの観点からWeb会員向けの申込画面を改修したため。		

目標③	会員の満足度、ニーズに応える事業運営 Web会員満足度80%以上			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	80%以上	80%以上	80%以上
実績	—	95.3%		
団体の達成 状況の評価	—	A		
備考	—	Web会員を対象として、令和2年12月から令和3年1月に実施したアンケート調査(回答511名)による。		

取組内容の評価(令和2年度)	
団体	<p>新型コロナウイルス感染症によりねりまファミリーパック事業全体が影響を受ける中で、各取組内容とも目標を達成することができた。共同事業については、従来実施しているJAとの共同事業等のほか、区内飲食店を支援するため、新たにねりま観光センターとの共同事業として「飲食店応援事業」を実施した。</p> <p>また、スポーツ観戦などのWeb会員に限定したチケットの販売を増やし、Web会員向けの申込画面を改修した結果、全会員に占めるWeb会員の割合が増加したほか、コロナ禍でも会員サービスを低下させないよう、飲食系カード発行などの事業を実施することで、Web会員の満足度も向上した。</p>
事業 所管課	<p>新型コロナウイルス感染症により、契約施設の多くが休館し、また公演等の事業中止が相次ぐなど、事業全体が影響を受ける中で、各取組内容とも目標が達成できたことを評価する。</p> <p>これまでのノウハウを生かして、「コロナ禍における会員ニーズ」と「区内事業者の活性化」の2つの目的を実現した飲食店応援事業の実施、「ステイホーム」が要請される中で、ギフトカードのあっせん事業など生活に密着した事業の充実、「対面」を避けるとともに、利便性も向上するWeb会員を増加させるための取組など、コロナ禍における会員ニーズを的確に捉えた事業を実施したことを評価する。</p> <p>結果として、Web会員の満足度が95パーセントを超え、1万人を超える会員数を維持できたことを評価するとともに、引き続き、コロナ禍における会員ニーズにあった新たな事業の展開と会員数の増加を求める。</p>

財務・組織	公社の経営体制
取組内容	<p>①現行の経営体制(理事長―常務理事―事務局長)を再編し、区との役割分担の考え方を明文化したパートナーシップ協定を策定・締結する。</p> <p>②現行の運営会議を改組または新たな会議体として、経営戦略会議を設置する。あわせて、区との連絡協議会を定期的を開催する。</p> <p>③後援名義の共有等にとどまらない、更なる事業の連携強化に向けた検討を行う。当面、関係者による連絡協議会を設置し、今後の方向性を協議していく。</p> <p>④各部門で独自に管理している様々な収入について、更なる増収策を検討する。</p> <p>⑤今後の人事組織のあり方について、求める人材像、方向性、区との関係、人事評価システムなどの具体策を示した「人事組織戦略方針」を策定し、順次取り組んでいく。</p> <p>⑥当面の設備整備・サイン計画を作成、実施する。現在の狭隘な窓口・執務スペースの改善策を検討、実施する。</p>

目標①	経営体制の再構築と区とのパートナーシップの確立			
年度別取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	検討・協議	順次実施	順次実施
実績	—	検討・協議		
団体の達成状況の評価	—	B		
備考	—	公社内部の検討および区との協議を進め、令和3年4月から、常務理事と練馬ビジネスサポートセンター長の兼任を解消し、専任のセンター長を配置することとしたため。		

目標②	経営戦略会議等の設置			
年度別取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	検討・設置	会議の運営	会議の運営
実績	—	検討		
団体の達成状況の評価	—	C		
備考	—	公社内部の検討に時間を要したため。なお、令和3年4月から経営戦略会議および区との連絡協議会を設置した。		

目標③	区内経済団体との連携強化			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	連絡協議会の 設置・協議	連携強化策の とりまとめ	順次実施
実績	—	検討		
団体の達成 状況の評価	—	C		
備考	—	公社内部の検討に時間を 要したため。なお、令和3 年4月から区内経済団体と の連絡協議会を設置し た。		

目標④	独自収入確保のための取組			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	検討	順次実施	実施
実績	—	検討		
団体の達成 状況の評価	—	B		
備考	—			

目標⑤	人事組織戦略方針の策定・実施			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	方針策定・ 順次実施	順次実施	順次実施
実績	—	検討		
団体の達成 状況の評価	—	C		
備考	—	公社内部の検討に時間を 要したため。		

目標⑥	施設環境の整備			
年度別 取組計画	元年度	2年度	3年度	4年度
	—	検討・ 一部実施	一部実施	一部実施
実績	検討	検討・ 一部実施		
団体の達成 状況の評価	—	B		
備考	—			

取組内容の評価(令和2年度)

<p>団体</p>	<p>公社の経営体制強化のため、常務理事と練馬ビジネスサポートセンター長の兼任を解消し、令和3年4月から新たに専任のセンター長を配置するとともに、レイアウト変更やサイン変更による施設環境の整備など、目標を達成した取組内容があった。また、独自収入確保については、目標を達成したものの、内部検討に留まった。</p> <p>一方で、公社内部での検討に時間を要した結果、人事組織戦略方針については、策定に至らず目標を達成できなかった。また、経営戦略会議、区との連絡協議会および区内経済団体との連絡協議会の設置についても、令和2年度中は検討に留まり、各々の会議体の設置はできなかったものの、令和3年4月から設置することができた。</p>
<p>団体 所管課</p>	<p>公社は、現行の経営体制のもと、これまでのノウハウを生かし、コロナ禍における区内事業者、施設利用者等のニーズを的確に捉え、練馬ビジネスサポートセンターをはじめとする4つの事業を着実に実施した。</p> <p>令和3年4月から常務理事と練馬ビジネスサポートセンター長の兼任を解消し、さらなる経営体制の強化を図ったことを評価する。</p> <p>新たな経営体制のもと、令和2年度中に達成できなかった「人事組織戦略方針」の策定および方針の実行、独自収入確保のための取組の実施に期待する。</p> <p>また、令和2年度中に設置はできなかったものの、令和3年4月から、区および区内経済団体との更なる連携強化を図るための会議体である、「経営戦略会議」、「区との連絡協議会」、「区内経済団体との連絡協議会」を設置したことを、評価する。</p> <p>今後は、設置したこれらの会議体も有効に活用しながら、公社の設立目的である区内産業の振興および地域経済の活性化を、引き続き求める。</p>